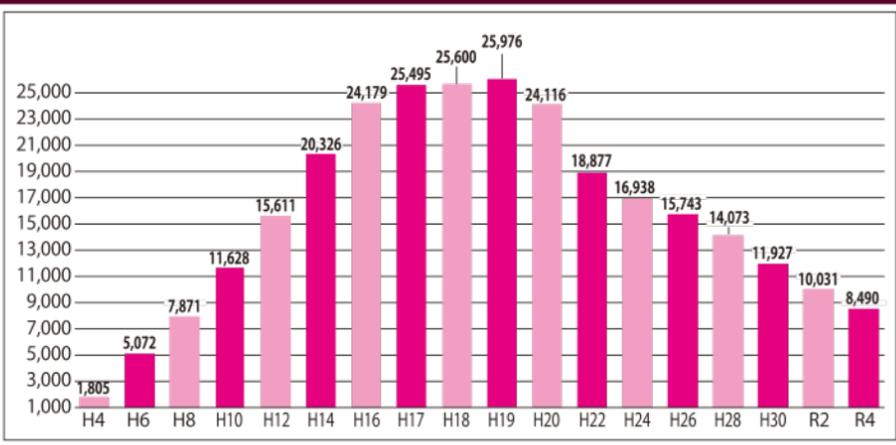


# アベノジャーナル Journal

## 木下吉信市政報告機関誌

発行所 木下会事務局 ☎06-6621-2651  
http://www.kinoshita-yoshinobu.com/  
E-mail:kinoshitakai@oct.zaq.ne.jp  
〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町1-52-13  
発行責任者 寺田 武 年2回(1月・7月)発行

### 緊急通報システム登録件数



これは、主に65歳以上の一人暮らしの方や高齢者世帯の方々、障がい者の方等を対象に、急病などの緊急時に24時間体制でご自宅へ駆けつけ、救急の出勤を要請するなど、速やかに必要な援助を提供する為の福祉サービスです。

32年前の平成4年の導入当初は、主に65歳以上の一人暮らしの方や高齢者世帯の方々、障がい者の方等を対象に、急病などの緊急時に24時間体制でご自宅へ駆けつけ、救急の出勤を要請するなど、速やかに必要な援助を提供する為の福祉サービスです。

ご存知ですか?

## 緊急通報システム 携帯電話対応型

### 緊急通報機器(携帯型機器)

- ★緊急通報(基本機能)  
ヒモを引くと緊急通報が受信センターに送信され、安否確認の電話がかかります。
  - ★緊急通報・健康相談(基本機能)  
タッチ操作で受信センターとすぐに会話ができます。
  - ★ハンズフリー(基本機能)  
着信から3秒後に自動的に接続しそのまま通話可能
- ※通信方式:4G  
※端末のカラー指定はできません



本体(持ち運び可)

初は携帯電話もなく、自宅の加入電話を登録し、近隣にお住まいの緊急連絡のできる協力者を登録する事が申し込みの要件となっていました。

登録加入件数はグラフの通り、平成19年の2万5976件をピークに減少しており、令和4年度は約3分の1の8490件となりました。

大阪市では、高齢者人口が増加しているにも関わらず、登録加入者が減少傾向にある事を重く受け止め、このままでは

### 緊急通報機器(固定型機器)

- ★緊急通報ボタン(基本機能)  
ボタンを押すと、本体で受信センターと会話ができます。
- ★スピーカー(基本機能)
- ★相談ボタン(基本機能)



本体(据え置き)

高齢者等への安否確認や緊急時の危機管理対応など、二次被害につながる恐れがないと制度の見直しを検討。

その結果、昨今の携帯電話の普及や生活様式の変化を考慮して加入電話の登録に限定せず、協力者がいなくても利用していただけるように要件を緩和するとともに、令和4年度からは従前の固定型機器に加えて携帯型機器も導入する事になりました。

正月の能登半島地震のような災害時でも、このシステムを有効に活用する事ができれば、一人でも多くの方の救出活動が可能となると、期待されています。

利用要件等のお問合せや申込みは、**阿倍野区役所・保健福祉センター**  
☎06・6622・9857迄

### 利用要件

#### ★主な事業内容

##### ①緊急通報対応

利用者からの緊急通報を受け、状況に応じて協力者や親族に連絡をしたり、委託業者によるご自宅への駆けつけ対応や救急車の出勤を要請します。

##### ②24時間健康相談

利用者からの健康相談に看護師等がアドバイスします。

#### ★対象者

##### ①高齢者

65歳以上で一人暮らしの方、65歳以上の方のみの世帯、1日のうち8時間程度居室内で1人になる方

##### ②障がい者

身体障がい2級以上または聴覚・音声・言語機能障がい3級以上の方で、単身世帯またはこれに準じる世帯

#### ★利用料

- ◎前年所得税・課税世帯 月額858円(税込)
- ◎前年所得税・非課税世帯 無料

#### ★協力者について

近隣にお住まいの方々などに、協力者として緊急時の状況確認などを行っていただいています。周りに協力者が見つからない場合でも、ご利用を始める事が可能ですのでご相談下さい。

#### ★オプション機能 220円(税込)

※携帯型機器利用者のみ

##### ◎電話帳登録

登録された方のみ電話の発信及びメールの送受信が可能です。

##### ◎お帰り通知

利用者のご自宅に戻られた事をお知らせします。

# 券・敬老パス・予約入場制 等々

大阪・関西万博まであと1年余りとなりました。昨年11月30日には500日前イベントが盛大に開催され、前売り入場券の販売もスタートしました。

パビリオンの建設費用の高騰や運営費の上振れ問題等経費面での課題が指摘されていますが、万博期間中の来場者に対するホスピタリティー（おもてなし）について具体的な対応策が示されておらず、誰の責任で運用されるのか、様々な課題が明らかとなりました。

## 敬老割引引き入場券（シニアパス）

現在、多くの公共施設等の集客施設では、65歳以上の高齢者に対してシニア割引料金が設定されています。（映画館は60歳以上）ところが、来年開幕する大阪・関西万博では、これらの割引入場券は設定されておらず、問題となっています。

木下市議が所属する「自民党・市民クラブ」では11月29日の一般質問で、森山よしひさ市議（浪速

区）が、高齢者に対するシニア割引入場券の導入を求めたのに対し、横山市長は、「考えておりません」という極めて冷たい答弁でした。

国内で開催された過去の万博等では、高齢者に対するシニア割引入場券が設定されており、海外の万博に至っては「高齢者は入場無料」という所もあり「なぜ、大阪では設定されていないのか？」「横山市長は、なぜ考えて頂けないのか？」不思議でなりません。

「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博のテーマを考えても、70年万博を経験した高齢者の方々にこれからの医療技術やAI等の科学技術など未来社会の方向性を見て頂く事は意義のある事だと思ふのですが、そういう意識はないのでしょうか？

とりわけ、未来を担う子供達に対しては、無料招待する為の予算（府・市合わせて約33億円）も税金から支出されるとの事で、矛盾を感じます。

## 万博におけるシニア層の入場料負担軽減を求める要望

11月29日に行われた一般質問において、わが会派から万博の入場料金体系の中にシニア割引が無いのであれば、開催地である大阪市において、割引を検討すべきであると指摘したところであり、市長からの答弁では、シニア層の方々に対する支援は考えていないという回答でした。

前回大阪万博を経験し、万博への思いも強いシニア層の方々にも、たくさん来場していただけるようにすることが重要であると考えます。

過去の国内での開催では、65歳以上の方を対象にしたシニア割引チケットが販売され、他国では60歳以上の方は入場無料とした実績もあります。また、動物園、博物館などの公共施設入場料についても、シニア層に対する入場料の割引があります。しかし、今回の万博にはシニア層に対する割引は用意されていないとのことであります。

子どもの無料招待など、若い世代への来場を促そうという施策と同様に、今回の万博のテーマに照らし、シニア層の方々にも健康で長生きをしてもらうためにも、来場してもらうことによって、万博になんらかの形で参加できる施策も検討するべきであると考えます。

開催地である大阪市として、万博におけるシニア層の入場料負担軽減を実施するよう要望します。

令和5年12月13日

自民党市民クラブ  
幹事長 前田和彦  
自民党くらしとつながる市民が第一  
幹事長 田中ひろき

## 自由民主党・市民クラブ 万博におけるシニア層の入場料負担軽減について



森山よしひさ議員  
(浪速区選出)

若い世代への来場を促そうという施策は重要です。一方で、前回の大阪万博を経験し様々な思い出を持ち、万博への思いも強いシニア層の方々にも、たくさん来場していただけるようにしていくことが重要です。今回の万博のテーマに照らし、シニア層の方々にも、健康で長生きをしていただくためにも、来場して、万博に参加してもらうことも重要だと考えています。愛・地球博では65歳以上の方を対象にシニア割引チケットが販売され、ドバイ万博では60歳以上の方は無料でした。今回はシニア層に対する割引は用意されていません。開催地である大阪市として、シニア層の負担軽減について検討すべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。

**市長** 市民の入場料支援につきましては、シニア層に対する支援は考えていませんが、今回の入場券種・料金は、より多くの方が来場できるように、開幕券や超早期購入割引など様々なバリエーションが用意されており、シニア層の方々にもお求めいただけるようになっています。

また、子どもの無料招待につきましては、大阪府と連携協力して、本市としても夏パスの配付を決めたところであり、万博会場で、次世代を担う子どもたちが世界の価値観や先進的な技術を直接体験することで、新しい未来社会の創造に向け、自らの将来にチャレンジしてもらいたいと考えています。

(市会だより・令和6年1月号より)

自民党・市民クラブでは、もう一つの自民系会派と連名で「万博におけるシニア層の入場料負担軽減を求める要望書」を12月13日に横山市長に手交しました。（別紙参照）

また、維新市議の一人は木下市議に「阿倍野区の高齢者の皆さんは、お金持ちやから、割り引きしなくてもいいじゃないですか」と発言されたそうです。

この発言を受けて、自民党・市民クラブでは、万博特別委員会（梅園周委員長）で問題視する事も検討しているとの事です。

ちなみに、この発言を聞いた老人会の役員さんは、「若い人にはセッセとばらまいて、赤バスはなくなる

# 2025 万博の問題点

# 高齢者割引入場

し、介護保険料は日本一高いし、ほんまに年寄りの住みにくい街になってしまいましたなあ」とあきらめたように話しておられたのが印象的でした。

今回の自民会派からの要望書についても最大会派で過半数の議席を有する維新の会は、何の動きも見せておらず、ダンマリを決め込んでいるようです。

**敬老パスは使えない!?**

万博会場へのアクセス鉄道として延伸される地下鉄中央線・夢洲駅までの区間について、敬老優待乗車証(敬老パス)の利用が可能かどうかまだ決まっていない、との事です。

つまり、この延伸区間については敬老パスの対象外となり、別料金を支払わなければ利用できない可能性が明らかになりました。

現在、敬老パスは大阪メトロが運行する地下鉄と大阪シティーバスが運行するバス路線で一回乗車50円で利用できる事になっています。(御堂筋線の江坂〜箕面萱野間は、北大阪

急行(株)が運行している為、別料金が必要です)

今回の延伸区間における対応は、大阪メトロの運行であるにも関わらず、議会に対して何の説明も行われておらず、今後様々な議論を呼びそうです。

**万博会場への入場は完全予約制!?**

今回の万博のもう一つの課題は、「事前に予約しておかないと入場できない」という事です。万博推進局によりますと、「会場内の混乱を避ける為、事前予約制を導入します」との事でした。

もちろん、空きがあれば当日入場は可能ですが、小学生等の団体入場等があれば、行きたい日に入場できないという事も考えられます。せつかく、前売り入場券を買っても、予約が取れないと入場できないのであれば意味がありません。

夏休みや連休など、海外からの来場者を含めてどのような条件下で入場制限をかけるのか、事前に丁寧な案内が必要です。

## 木下市議が12月12日に提出した質問主意書の要旨(抜粋)

- Q 万博開場となる夢洲は、来場者のマイカー等の乗り入れは禁止されていますが、夏休みや連休等来場者数の想定と鉄道・バスの輸送計画はどうなっていますか?
- Q コロナ禍以降、バスの運転手不足が社会問題となっているが、誰の責任で運行されるのか?人材確保は誰が担うのですか?
- Q 環境対策としての自転車を貸し出しているの会場乗り入れを検討されているとの事ですが、誰の責任で運用されるのですか?

- Q 障がい者や歩行困難な高齢者のマイカー乗り入れは可能ですか?障がい手帳を持たない外国人対応も教えて下さい。
- Q 高齢者に対するシニア割引入場券についての一般質問で横山市長が「考えておりません」と答弁されましたが、万博協会としての判断ですか?市長答弁の根拠を教えてください。
- Q 障がい者を対象とした入場券については前売り券では、特別入場券として販売されているものの、期間中の当日券に設定がありません。高齢者と同様にお取り計らいをいただきたいと思うのですが、いかがですか?

★★★★★★★★★  
これらの万博開催に向けた様々な課題や問題点について、木下市議は12月12日9項目にわたる質問主意書(公開質問状)を提出しました。(別紙参照)

紙面の都合で、答弁書については掲載できませんが、QRコードで読み



12/19 答弁書

取って頂くか、事務所にお問い合わせを頂ければ、コピーしたものを提供させていただきます。

# 木下市議激怒!!

## ～福祉局のずさんな対応～

障がい児を抱える保護者にとって「放課後等デイサービス」は、児童・生徒の放課後活動の安心サービスとして多くの方々に利用されています。

授業が終われば、学校まで車で迎えに来てくれて、各事業所で保護し、保護者の帰宅時間に合わせて自宅まで送り届けてくれるというものです。(高齢者のデイサービスの障がい児版です)

利用料金は保護者の収入に応じて設定されていますが、福祉局の計算ミスによって利用者77人に対して基準より安価な利用金額を請求した為、混乱が起きました。

利用者の一人は請求通知書が送付された時に「計算間違いではないですか?」と区役所に何度も確認をしたそうですが、市の担当者から「間違ってますから、この金額で利用して頂いて結構です。」と言われたそうです。

ところが、2年後に市の計算ミスが明らかとなり、利用金額の差額が追徴される事になりました。利用者の追徴額の最高はなんと65万円。

事前に何度も確認したにも関わらず、ミスが判明した途端、利用金額の差額を請求する福祉局の対応に木下市議は激怒。民生保健委員会で横山市長を厳しく追及しましたが、結果的に行政をチェックすべき議会も維新の会が過半数の議席を有している為、チェック機関としての機能不全に陥っているというのが大阪市会の現状です。

質疑の様子は添付のQRコードでご覧いただくか、木下市議のホームページの動画をご覧いただき、ご意見やご感想などお寄せください。

一連の質疑動画がYouTube等で紹介され、全国の障がい者関係の方達から木下事務所に激励のメール等が殺到したとの事です。



9/21  
民生保健委員会



12/6  
民生保健委員会



木下市議  
ホームページ動画



# 木下吉信議員の プロフィール

昭和36年 木下家の長男として阿倍野区に生まれる。  
父 木下伸生 第78代 大阪市会・議長  
祖父 木下常吉 第55代 大阪市会・議長  
第50代 大阪市会・副議長

昭和49年 大阪教育大学付属天王寺小学校卒業  
昭和52年 同志社香里中学校卒業  
昭和55年 同志社香里高校卒業  
昭和59年 同志社大学文学部社会学科卒業  
●中学から大学までの10年間は、ラグビー部で選手として活躍。  
●同志社大学時代は、4年間で3度の大学日本一に輝く。  
昭和59年 大学卒業後、毎日放送に入社。  
報道局で5年間、スポーツ局で3年間、取材記者として活躍。  
●報道局在勤中は、グリコ・森永事件や山口組VS一和会の抗争事件など重要事件の取材を担当したほか、昭和天皇ご崩御の際はJNN特別取材班の一員として宮内庁記者クラブで昭和最後の日を迎える。  
●また、国政選挙、統一地方選挙などの報道取材を通じ、国政市政の抱える問題点をさまざまな角度から勉強する。  
●スポーツ局では、プロ野球をはじめ、ゴルフ、ラグビー、駅伝などのチーフディレクターをつとめる。

平成4年 3月 ・父の遺志を継いで大阪市会議員補欠選挙に初当選。  
平成7年 4月 ・大阪市議に再選。  
平成7年 5月 市会運営理事(第90代徳田議長付)  
平成9年 6月 文教経済委員長  
平成11年 4月 ・大阪市議に三選。  
平成11年10月 自民党大阪府連青年局長  
平成12年 6月 市会運営理事(第95代天野議長付)  
平成12年10月 市会運営理事(第96代玉木議長付)  
平成15年 4月 ・大阪市議に四選。  
平成16年11月 一般会計・決算特別委員長  
平成17年 6月 交通水道委員長  
平成19年 4月 ・大阪市議に五選。  
平成22年 6月 大阪市・監査委員  
平成23年 4月 ・大阪市議に六選。  
平成25年12月 第110代・大阪市会 議長  
平成26年 5月 関西広域連合・議会議員  
平成27年 4月 ・大阪市議に七選。  
平成27年 5月 第115代・大阪市会 副議長  
平成27年11月 自民党・政令指定都市議連・政調会長  
平成29年11月 自民党・政令指定都市議連・幹事長  
平成31年 4月 ・大阪市議に八選。  
令和元年 5月 自民党大阪府連・総務会長  
令和元年11月 自民党・政令指定都市・議員連盟・会長  
令和4年 1月 自民党・政令指定都市・連絡協議会・幹事長  
令和5年 4月 ・大阪市議に九選。  
令和5年 4月 自民党大阪府連・総務会長  
令和5年11月 自民党・政令指定都市・連絡協議会・副会長

【現在】 ●自民党・政令指定都市・連絡協議会・副会長  
●大阪市会・民生保健委員会・委員

## 編集後記

元日早々、石川県能登半島を襲った震度7の大地震。

多くの家屋が倒壊し、門松やしめ縄が散乱し正月気分も吹き飛んでしまう大惨事となりました。

ニュースで、倒壊家屋の救出活動に従事する大阪消防局の隊員の姿を見て感激し、テレビの前でエールを送っていました。

災害はいつ起こるか分かりません。来年は万博が開幕します。南海トラフ地震に対する危機管理体制を整えておく事が急務であると感じました。

とりわけ、埋め立て地である事を考えれば、道路損壊に伴う液状化現象等の対応が来場者に対する安心安全の担保になると思います。

吉村知事も横山市長もイザとなったら「言い訳と人のせい」に終始している印象があるだけに、危機管理だけでなく責任あるリーダーシップを発揮してもらいたいです。